

教科	音楽	単元名	ようすをおもいうかべよう
----	----	-----	--------------

本単元で育む主な情報活用能力

C-STEP1, D-STEP1
F-STEP1, H-STEP1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・歌詞が表す様子を想像し、音楽に合わせて体を動かしたり、気づいたことを発表したりしながら、場面ごとの曲想を感じ取る力や、曲想や語感に合った表現を工夫する。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・情報を収集する身近な方法を知り、実践する。
 - ・本を読むことで、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく。

単元における学習の展開（全6時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (3時間)	○星空の様子を思い浮かべながら、歌ったり演奏したりする。（きらきらぼし） ・歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら音程や発音に気を付けて歌い、曲想を捉える。（☆）（本時） ・曲想に合った歌い方や演奏の仕方について思いをもつ。 ・曲想を生かした声の出し方に気を付け、歌ったり演奏したりする。
第2次 (1時間)	○人形の様子を思い浮かべながら聴く。（にんぎょうのゆめとめざめ） ・曲想と旋律やその変化などとの関わりに関心を持ち、情景を想像しながら聴いたり、場面が変わっていく面白さを味わって聴いたりする。
第3次 (2時間)	○歌詞の様子を思い浮かべながら歌う。（はるなつあきふゆ） ・歌詞の表す情景を想像し、曲想と旋律や伴奏、強弱、速度との関わりに関心を持ち、歌う。 ・声の音色や速度、強弱を考え、歌い方を工夫してどのように歌うかについて思いをもち、歌詞の感じが伝わるように歌う。

本時のねらい

星について本で調べ、「きらきらぼし」をどのように歌いたいのかを考えて、表現する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 星空のイメージを共有する。 めあて：ほしぞらのようすをそうぞうしながらうたおう。 ・きらきらぼしを全員で歌う。	・今まで見たことのある星を思い出す。 ・星空が広く描かれた絵本を用意し、全体に共有する。
展開 (35分)	2. 星空の写真を本でみる。 ・本から星空のようすをワークシートに書く。 ① どのような色なのか ② どのような音がしうなのか ③ どのような気持ちになるのか 3. 「きらきらぼし」の曲想に合った歌い方を考える。 ・どのように歌うのか考える。 ① 速さ：はやく・ゆっくり ② 曲調：しずか・にぎやか・げんき・きれい・あかるい・くらい・はずむように・なめらかに・さみしい・ちからづよい・おそろしい ③ 動作：手を振る・手首を回す・上を指さす ・ワークシートに記入する。 ・話し合い、共有し発表する。	・星や星座がたくさん載った本を見せて、星について感じたことを全体で共有する。 ・班に一枚ずつワークシートを配布する。 ・3観点の短冊を掲示し、速さ、曲調、動作に分けて考える。 ・実際に色々な速さ、曲調、動作を付けて歌ってみる。 ・いくつかの班に発表させる。
まとめ (5分)	4. 「きらきらぼし」を思い浮かべながら歌う。 ・振り返りをする。	・次時に向けての見通しを持つ。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・星や星座の写真を見ることによって、星空の様子を思い浮かべやすくなる。
- ・歌い方をいくつかの観点に分けることによって、具体的で歌いやすくなる。
- ・歌い方をワークシートに○をすることによって、歌うことが苦手な児童にとっても、自分の考えを表現しやすくなる。



星の絵本を見ている様子